



# KUMAMOTO GREEN Rotary-Club



**2013-2014年度 テーマ**

- 国際ロータリー 「ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を」 R.I. 会長 ロンD・バートン
- 地区方針 「良き友を得てロータリーを学び奉仕を实践しよう」 R.I.2720 地区 ガバナー 赤山 武興
- 熊本グリーンR.C. 「魅力あるクラブにしよう」 熊本グリーンR.C. 会長 山下 隆生

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30  
 ■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル TEL096-326-3311  
 ■創立：平成元年2月22日 ■会長：山下 隆生 ■幹事：河島 一夫 ■会報担当：長野 義文  
 ■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内 TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

## 国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリー・クラブ週報

【2013年9月9日】

第1102回  
2013-2014年度 第9回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

・ロータリーソング「我等の生業」

2. 食事と交歓

### 来訪者紹介

・熊本中央RC  
平田 耕一 君、山代 敏男 君、増岡 範昭 君

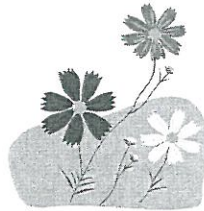
・熊本グリーンローターアクト(7人)  
荒木 優祐 君 坂口 博美 君  
緒方夕里香 君 西村あかね 君  
力久 夏実 君 澤田裕美子 君  
王 紅 玲 君

・米山奨学生 曹 娥さん

### 友情の握手

会長スピーチ (山下 隆生 会長)

先週は、第三回目のクラブ協議会で第3 分区の目黒ガバナー補佐に来ていただき、私の今年度テーマ「魅力あるクラブにしよう」についての講評を戴きました。柔らかい口調で、分かりやすく大変ためになるお話で、今後の活動の参考になりました。



私の会長年度のメインでもあり、ヤマを越えたのではと少しホッとしています。ガバナー補佐が常々話されてることに、「ロータリーとは親睦で始まり親睦で終わる」という言葉があります。その事は、クラブ協議会の後の親睦懇親会の時につくづく感じました。お互いのコミュニケーションを作る機会は、例会の時間よりこういう時の方が大事なのではと思います。皆さんと色々な意見の交換が出来、本音も聞けて今後のクラブ運営や会員増強にも必要な時間です。

今日より私の昔からの友人の荒木くんが新入会員として参加されています。入会に当たり「ロータリーの基本知識:新会員のためのガイド」を拝見しました。内容は、ロータリーの基本が書いてあるのですが、果たして私はどれほどロータリアンとして実践してるのかを再認識しました。また機会がありましたら基本的なことですが会長のスピーチの時にも紹介できればと思います。

本日は、例会メニューが盛り沢山ですのでスピーチも手短で終わりたいと思います。

### 幹事報告 (河島 一夫 幹事)

#### ■ 報告事項(その他のロータリー関係)

「第12回 ロータリー全国囲碁大会」のご案内  
日 時:2013年11月2日(土)10:00～  
会 場:日本棋院会館(東京・市ヶ谷)1F 対局場  
会 費:7,000円(昼食代・景品代等含む)  
ホスト:東京ロータリークラブ

卓話  
予定

【9月】～9月は「新世代のための月間」～  
20日(金)「赤山武興ガバナー公式訪問」(熊本第3グループ(8RC)合同例会)  
23日 祝日(秋分の日) 定款第6条第1節に基づき 例会取り止め  
30日 クラブ・フォーラム 「創立25周年記念事業について」

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

■ 例会取止め・変更

<変更>

【熊本平成RC】

- ・ 9月18日(水)の例会は、熊本第3分区ガバナー公式訪問ため、9月20日(金)12:30よりホテルキャッスルにて行います。
- ・ 9月25日(水)の例会は観月会です。詳細は未定です。

【熊本北 RC】

9月26日(木)の例会は、親睦例会のため、同日18:30よりホテルキャッスルにて行います。

【熊本南 RC】

9月30日(月)の例会は、観月会例会のため、同日18:30より、ホテル日航 7F ガーデンバンケットにて行います。

【熊本'05 福祉 RC】

10月29日(火)の例会は、赤山武興ガバナー公式訪問のため、10月31日(木)17:00より菊池「笹乃家」にて行います。

<取止め>

下記の例会は、定款第6条第1節に基づき、取り止めます。

【熊本南 RC】 10月7日(月)

\*但し、当日「水俣条約外交会議」が日航開催のため、入管規制があり、サインMake-upはありません。

【熊本'05 福祉 RC】 10月15日(火)


出席報告

(クラブ管理運営委員 趙 健次 会員)

	会員総数	24名	出席率
9月9日	出席免除会員数	0名	76.00%
	計算上会員数	24名	
	出席会員数	19名	
8月26日	前回の出席会員数	17名	70.83%
	メイクアップ数	0名	
	修正出席会員数	17名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
なし			

## 新入会員 入会式

山下 隆生会長より荒木一之会員へ  
ロータリーバッジの贈呈



氏名	荒木 一之 会員(54歳)
勤務先	有限会社 セCOND 代表取締役社長
職業分類	時計販売
推薦者	山下 隆生 会員
趣味	アルトサックス ドライブ、音楽鑑賞

慶 事

Happy Birthday!!

(クラブ管理運営委員長 松山優喜 会員)

★9月誕生祝★

緒方 貞俊 君	S3.9.12
大友 公子 夫人	S15.9.6
土井口 哲子 夫人	S18.9.5
伊津野 和恵 夫人	S20.9.23
中島まさ子 夫人	S23.9.10
米山奨学生 曹 娥 さん	1980.9.12

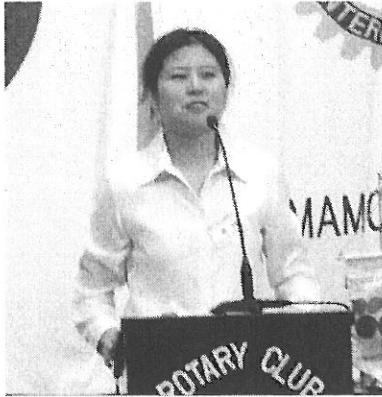


左から：曹 娥さん、伊津野会員  
大友会員、山下(隆)会長

## 委員会報告

① 米山奨学生 9月分奨学金の授与  
山下 隆生 会長より曹 娥さんへ

② 米山奨学生 曹 娥さんによる  
「3分間中国語講座」



## その他の報告

「第5回 熊本中央RCチャリティゴルフコンペ」

報告者:熊本中央RC会員(写真あり)  
内容:日時:10月25日(金)7:45  
例会及び開会式 8:07 スタート  
場所:チサンカントリークラブ御船  
プレー代:9,400円(昼食・ドリンク付)  
参加費:3,000円



## スマイル

(蒼 孝之 クラブ管理運営委員)  
(スマイル担当)



● 平田 耕一 君、山代 敏男 君  
増岡 範昭 君(熊本中央RC)

「本日はチャリティゴルフのご案内に参りました。多くの皆様のご参加をお待ち致しております。」

● 山下 隆生 君、河島 一夫 君

①「久々の新入会員です。荒木一之さんが私共のクラブに入会されました。今後共よろしく願います。」

②「今日は、9月9日で「長陽の節句」の日です。生きている事に感謝して祝う日でしたが、明治以降、どういう訳かすたれてしまいましたが、今でも「4節句」には数えられています。」

● 伊津野良治 君

「家内の御誕生日のお祝い大変有難うございます。「しわ」の1つでも少なくしてやれないかと思いますが、ままなりません。」

● 趙 健次 君

「オリンピック招致での日本の皆様のプレゼンテーション。被災地出身(パラリンピック選手)のプレゼン。また「おもてなし」のプレゼンに感動!! 福島の人々に勇気を与えて頂いたIOC委員と世界の仲間。2020年東京オリンピック、パラリンピック開催おめでとう!!バンザーイ!!!」

● 大友 利行 君

①「まずは2020年の東京オリンピックおめでとうございます。しかし1国の総理大臣まで向く様な事なのか。もっとやるべき事は沢山あると私のような年寄りには思えてなりません。若い方々には大いに刺激となるでしょう。」

②「家内の誕生お祝いありがとうございます。」

● 上田 観一 君

①「本日はRACとの合同例会楽しみにしていました。最近はなかなかRACの例会に参加出来ず申し訳ないと思います。10月から出席出来るようにと思います。」

②「熊本中央RCの皆様のご来訪ありがとうございます。」

● 長野 義文 君、栗山 義則 君

十時義七郎 君、葉 高源 君、蒼 孝之 君

「日本でオリンピック、パラリンピックが2020年に開かれる事が決まりました。熊本でも「おもてなし」の心で迎えたいと思います。」

### 3. 例会プログラム

## 熊本グリーンローターアクトクラブ「今年度活動方針について」

濱崎会長所信表明原稿



熊本グリーンRAC幹事荒木優祐君より  
今年の活動方針発表

皆さんこんにちは、今期熊本グリーンRAC 会長をつとめさせていただきます、濱崎建至です。本日、本来であれば、この場で所信表明をすべきなのですが、私事ながら、英国研修と重なってしまい、出席することができなくなってしまったため、幹事の荒木に代読をお願いしてあります。ご迷惑をおかけしてすみません。

それでは、さっそく所信表明を始めたいと思います。

まず、今期の熊本グリーンRAC のクラブターゲットですが、stepとさせていただきます。

ここには、主に3つの意味を含めました。

一つ目に、「昨期からのstep」です。

昨期の第28 回地区ローターアクト研修会において、坂口実行委員長のもと、研修会を成功させることができましたが、今期はアク歴の浅いメンバーで会長、幹事、会計の三役を担当することもあり、昨期からの一步を、小さくても良いから、一步一步確実に踏み出そうという意味を含めました。

二つ目に、「会員個々人のstep」です。

グリーンは現在、社会人から学生までの会員で構成され、他のクラブにはあまり見られない構成となっています。そのため、例会への参加のための調整が難しい方もいるのですが、だからこそ、一つ一つの例会を充実させ、例会で学んだことや、会員から刺激を受けたことを、会員個々人の仕事や勉強、またプライベートなどに活かしていき、会員個々人のstepにつなげてもらいたいという意味を含めました。

最後に、「会員全員でのstep」です。

先ほども軽く触れましたが、昨期会員一丸となって研修会を成功させましたが、今期もアクトの森のホストをはじめとして、クラブとして取り組む際には、グリーンの強みである、コミュニケーション力を生かし、会員全員でクラブ全体でのstep を遂げたいという思いを含めました。

クラブテーマ「step」にこれらを含め、次の5つの活動方針を掲げました。

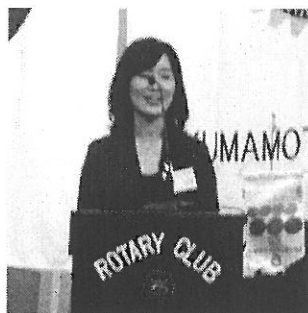
- 1、RC との連携をより強化
- 2、クラブ内メンバーの親睦をより深める
- 3、地区内アクトーとの交流を深める
- 4、定期的な活動の実施
- 5、アクトを通して全員がstep を実感する

の5つになります。

まず、「RC との連携をより強化」ですが、昨期もこの項目は掲げられていました。今期は昨期よりも「より」ということで、合同例会、卓話の依頼、懇親イベントに加え、新たに、移動例会を予定しました。



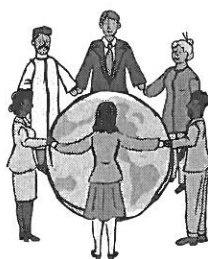
アクト新入会員で米山奨学生の王紅玲(ワウ コウレイ)さん



坂口 博美さん



西村あかねさん



緒方夕里香さん

本日参加させていただいている合同例会、そして、こちらの写真にありますが、RCの山下隆生会長に卓話を依頼し、熊本のアートポリスについてのお話をいただきました。

また、8月には、RCの十時さんから流通革命論と題した卓話をさせていただきました。これらの卓話でのお話は、山下さん、十時さんが携わった、あるいは経験された「本物の」お話を聞くことができ、普段体験することのできない貴重な場となりました。この場を借りてですが、お礼をさせていただきたいと思っております。山下さん、十時さんありがとうございました。

次に、今期から新たに取組んでいこうと準備していた移動例会を、RCの河野さんに例会場を提供していただき、先月実施することができました。また、この際には、浴衣を着て例会に参加し、河野さんや講師の方から、帯の結び方や着物についてのお話を聞くことができ、日本の伝統工芸の奥深さを改めて実感する機会となりました。

グリーンの会員のほとんどを占める女性陣も浴衣を着ていつもより、より美しくなることができました。

思わず、見とれてしまいましたよね。

会長の私も、いつもひひしと感じている女性陣からのプレッシャーが、このときは少し和らいでいるように感じました。

今回の移動例会の実施にあたり、会場・浴衣の提供をしていただいた河野さん、卓話をいただいた十時さんをはじめ、RCの方々にはとてもお世話になりました。ありがとうございました。

今後、RCとの連携をより深めるために、懇親イベントなども企画していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

活動方針2つ目は、「クラブ内メンバーの親睦をより深める」です。

主に、例会後の食事、会員の誕生日会の実施、クラブ懇親イベントの実施を行ってきたいと考えており、すでに、毎例会後の食事と7月に誕生日会を行っています。写真は、誕生日会の時のケーキです。

また、クラブ懇親イベントを、今期は、季節にちなんだ内容とし、会員全員で四季を楽しんでいきたいと考えています。先月には夏を楽しむということで、人吉の球磨川にラフティングに行ってきました。

当日は、他クラブからも一緒に参加していただき、ラフティングを楽しんだ後のバーベキューでも親睦を深めることができましたと思います。今後も、食欲の秋に向けての企画を考えていきたいと思っております。

3つ目の方針は「地区内アクターとの交流を図る」です。

こちらは具体的に、ペアクラブの推進、地区行事・他クラブイベントへの積極的な参加を行ってきたいと思っております。ペアクラブは、今期3回を目標に他クラブとの関係を築いていきたいと思っております。

昨日行われたアクトの森では日田中央RACさんと一緒にホストを受け持つことになり、グリーンではメインプログラムを担当いたしました。メインプログラムでは、暑さを和らげる涼についての話、うちのデザイン作成を行っていき、午後のメインプログラムを無事終えることができました。今後は、10月の年次大会等への参加を行ってきたいと思っております。

4つ目に「定期的な活動の実施」ということで、今期中に3回のキンボール大会を企画していきたいと思っております。早速今月、熊本城東RACとの共催での開催を予定しています。

案内になってしまうのですが、9月22日(日)13:00~16:00に熊本県立大学「アリーナ」にて開催されますので是非ロータリアンの皆様、ご家族の方にもお越しいただければと思いますのでご参加の方をお待ちしています。

また、この企画運営を通して、城東RACとの交流を深め、地区内のアクターとスポーツを通しての交流を図ってきたいと思っております。

これらを通して5つ目に「アクトを通して会員全員がstepを実感する」ことを掲げたいと思っております。グリーンでの活動を会員個人個人のプライベートにフィードバックしてstepを図っていただき、グリーン全員で、アクト、プライベートの両面で一歩を踏み出し、今期が終わる際そのstepを実感したいと考えています。ロータリアンの方々に今後ご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、今までと変わらず、暖かく見守っていただき、助言等を頂きたいと思っております。

今期一年、よろしくお願いいたします。

これで、会長濱崎の所信表明を終わります。ご清聴ありがとうございました。



カ久 夏実さん



澤田裕美子さん

#### 4. 閉会・点鐘

\* 例会終了後、定例理事会開催

## 中南米での水プロジェクトでロータリアンと高校生が協力



エクアドル中部、岩だらけの山にあるティンゴブカラ村。インスピレーションが沸く場所とはとても言えないこの地で、トニー・リッジオさんはカメラを手に熱心に写真を撮っています。彼が写真に収めようとしているのは、ロータリー会員と高校生たちが汗を流して取り組んだ水プロジェクトです。

ウェストポート・ロータリークラブ会員であるリッジオさんは、

これまで何度も、中南米への青少年の遠征旅行を引率してきました。そのきっかけは、2001年、米国コネチカット州に本部を置く非営利団体、「国境なき建築者団」(Builder Beyond Borders=B3)のプログラムに彼の娘が参加したことでした。彼が引率した高校生たちが参加したプロジェクトには、ドミニカ共和国のハリケーン被災者のための簡易住宅建設、ニカラグアでの橋の建設、コスタリカでの教室建設などがあり、どれをとっても、水と衛生の設備を整えることが常に重要な要素となります。「ここ中南米では、水は本当に貴重なものです」とリッジオさんは述べます。

2011年4月、B3のプロジェクトで高校生たちとともにティンゴブカラを訪れたリッジオさんは、平和部隊や「国境なき技師団」と協力して、村に水を引くためのパイプラインを建設しました。標高約3,800メートルのこの村から一番近い水源は、険しい山道を約1.5キロメートル下ったところにあり、水や耕作地の不足から、この村の男性たちはふもとの村まで働きに出るしかありません。このプロジェクトが実施される前、残された女性たちは、料理や洗濯用の水や飲み水を遠く離れた水源から運ばなければなりませんでした。エンジニアが設計したポンプシステムを、リッジオさんと高校生らのチーム、そして現地の人たちが協力して設置した結果、今では、村人たちが水道を常時利用できるようになりました。

リッジオさんの妻、エイミーさんもこの活動にかかわっています。彼女は次のように話します。「水プロジェクトでは、子どもたちは最後の最後になるまで、達成感を味わうことはできません。パイプを地中に埋めてしまうので、“完成物”が見えないからです。でも、大変な作業の後、蛇口をひねってあふれ出す水を見ると、子どもたちは歓喜で沸き返り、泣き出す子もいます。本当に感動的な瞬間です」

平和部隊とロータリーの世界的ネットワークを駆使した活動を通じて、ロータリーの信頼性と評判が高まり、ほかの団体との関係が築きやすくなった、とリッジオさんは言います。2008年には、B3のチームがグアテマラのロータリークラブと協力し、現地に聴覚障害者の学校を建てました。今年にはさらに、ガイアナのジョージタウン・ロータリークラブと協力して、コミュニティーセンターや橋を含む5つの建設プロジェクトを実施する予定です。

エイミーさんは次のように語ります。「こうした活動は、世界を動かしています。そして、その中心にいるのが高校生たちです。これらのプロジェクトを通じて、彼らは人間として成長し、リーダーシップの力を養っています。これこそ、ロータリーらしい活動だと思います」

この記事は「The Rotarian」誌2013年3月号に掲載されたものです。